

認知症の診断

認知症をみる病院や医師

かぜをひいたら内科の医師に、骨折したら整形外科の医師にみてもらうように、認知症にも専門の医師がいます。ただし、専門の医師が近くの病院にいない場合もあるでしょう。

まずは、ふだん病気になったときにみてもらっている病院の医師に相談します。その医師が認知症の疑いがあると判断したら、

専門の病院を紹介してくれることもあります。また、インターネットでも、専門の病院や医師を探すこともできます。

専門の医師は、脳の病気の専門家です。病院の精神科、脳神経内科、脳神経外科、老年科というところにいることが多いです。「認知症センター」や「もの忘れ外来」という名前にしている病院もあります。



認知症の診断

専門の医師は、本人や家族からこれまでの様子を聞き取ります。いつぐらいから、どのような症状があるのかを知ることは、診断の大きな手がかりになるからです。

聞き取りした内容と、心理検査や血液検査、画像検査の結果から診断します。画像検査では脳の状態を調べ、ほかの病気がないかどうかを確認します。



画像検査 体の中を撮影して、見ることができる検査です。CTやMRIと呼ばれる機械を使います。

認知症の診断に使われる心理検査

心理検査では、医師や心理士などの専門家から質問されたことに答えます。質問の内容は時間や場所、記憶、計算、言葉など

いろいろな種類があり、どれだけ答えられるのかを確認して、認知症を診断します。

年はいくつですか？

100から7を順番に引いてください。
(100-7=93、93-7=86と答える)

今日は何年の何月何日ですか？

これから言う数字を逆から言ってください。6、8、2。
(2、8、6と答える)

今いる場所はどこですか？

これから5つの物を見せます。それを隠したあとに、何があったか教えてください。



どうして認知症になったのかな？

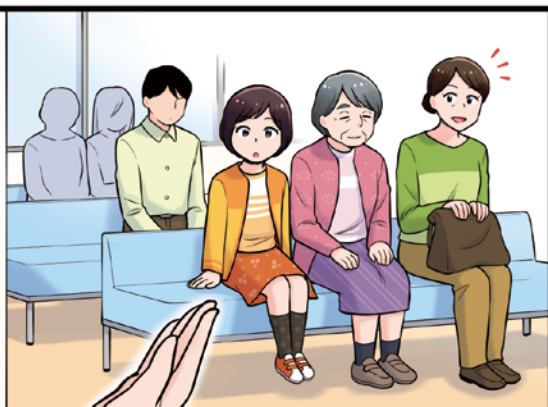
きょう けんさ
今日の検査は
ぜんぶ お
全部終わりました
このあと
せんせい はなし
先生からお話があるので
まちあいしつ すこ
待合室で少しお待ちください



おばあちゃん
どうして認知症になったんだろう

なんで、もっと早く気付いて
あげられなかったのかな……
なお
治るのかな……

さとう
佐藤さん
どうぞお入りください



さとう
佐藤さん
きょう つか さま
今日はお疲れ様でした
きぶん
気分はどうですか？

はい
だいじょうぶ
大丈夫です

きょう けんさ
今日の検査で
くわ
詳しいことがわかりました

脳血管性

レビー小体型

アルツハイマー型

前頭側頭型

びょうめい
病名は、アルツハイマー型
にん ちしやう
認知症です

アルツハイマー型は
にん ちしやう なか
認知症の中でもいちばん多い
びやうき
病気なんです

アルツハイマー型？

せんせい
先生、おばあちゃんは
どうして認知症になったんですか？

認知症の治療方法

3つの組み合わせで治療する

残念ながら、認知症を治す方法や、病気が進むのを完全に食い止める方法は見つかりません。そのため、治療は症状が進むのを遅らせたり、生活しやすくすること

とを目標にしています。治療法は、大きく分けると「薬を使う治療」と「薬を使わない治療」があり、さらに「適切なケア」が必要です。

薬を使う治療
認知症の種類によって、薬を使って治療します。どの薬を使うのがよいかは、医師が選びます。

薬を使わない治療
脳のはたらきを助けるための運動や活動することで、認知症が進むのを遅らせることができます。

適切なケア
まわりの人の接し方で、生活しやすくなったり、おだやかな気持ちになれたりします。



薬を使う治療

認知症で使用する薬には、病気が進むのを遅らせるものや、不安な気持ちをやわげたり、安心してねむれるようにするものがあります。



病気が進むのを遅らせる薬

脳内の記憶を保つはたらきや集中力を高める物質の濃度を高めることで、アルツハイマー型認知症やレビー小体型認知症の症状が進むのを遅らせる薬があります。

ねむれないときに飲む薬

十分な睡眠がとれないと、日中にぼんやりして記憶力が落ちて不安になり、生活しづらくなってしまいます。そのため、ねむりやすくなる薬が使われることがあります。

不安に効く薬

強い不安や興奮を落ち着かせる薬があります。ただし、効きすぎるとふらついたり、ねむくなりすぎることがあるので、注意が必要です。

イライラに効く薬

認知症になると、イライラしたり怒りが強くなったりする人がいます。そうした気持ちを落ち着かせる薬があります。

認知症の薬の開発

2021年6月、日本とアメリカの製薬会社が共同で開発した、世界で初めてのアルツハイマー型認知症の治療薬が承認され、話題になりました。この薬は、アルツハイマー型認知症の原因といわれているアミロイドβというたんぱく質を、脳の中から減らすことができる薬です。ただし、この薬がどのくらい効くのかわかるには、まだ時間がかかりそうです。また、いったん小さくなってしまった脳はもとに戻せません。そのため、さらに新しい治療方法や薬が開発されることが期待されています。

